

～性的指向や性自認にかかわらず、安心して生活できる社会に～

性的少数者（性的マイノリティ）とは？

L G B TあるいはL G B T Q+といった表記を見かけたことはありませんか？

性的少数者（性的マイノリティ）を表すことばとして定着してきました。次のことばの頭文字をつなげてL G B T。

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー（下表参照）

性を構成する要素	性のあり方を表すことば	ことばの説明
性的指向 （どういった人を好きになるか）	レズビアン（ L esbian）	同性を好きになる女性
	ゲイ（ G ay）	同性を好きになる男性
	バイセクシュアル（ B isexual）	異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある人
	ヘテロセクシュアル（Heterosexual）	異性を好きになる人
性自認 （自分の性別を自分でどう思うか）	トランスジェンダー（ T ransgender）	出生時に割り当てられた性別とは異なる性別で生きる人／生きたい人
	シスジェンダー（Cisgender）	出生時に割り当てられた性別と自認する性が一致している人

L G B T以外にもアセクシュアル（Asexual：他人に恋愛感情を抱かない人）や、クエスチョニング（Questioning：自分の性的指向や性自認が決められない、またはあえて決めない人）等、さまざまな人がいます。

Qを加えたり、列記できないほどたくさん種類があることを＋（プラス）で表現したりされます。



性のあり方において、「L G B T」は性的少数者（性的マイノリティ）の総称として使われています。それに対して、多数者（マジョリティ）はヘテロセクシュアルやシスジェンダーといえます。どれも性のあり方のひとつにすぎません。

多様性を認め、お互いに尊重し合える社会は、誰にとっても生きやすい社会につながります。まずは知ることから！

